

KYOTO CRAFTS and DESIGN COMPETITION

# TRADITION FOR TOMORROW

トラディション・フォー・トゥモロー

未来に繋げる工芸を京都から

主催：京都伝統産業ミュージアム（株）京都産業振興センター 共催：（公財）京都伝統産業交流センター  
協力：京都府、京都市、京都・大学ミュージアム連携 後援：京都新聞、KBS京都



## 【挨拶】

今年度、私たち京都伝統産業ミュージアムでは、「不易流行」と「温故知新」をテーマとする公募展「TRADITION for TOMORROW」を開催することといたしました。

このクラフトデザインコンペでは、全国で活動する「京都に縁のあるつくり手たち」から、伝統的な技術・技法を用いた現代のライフスタイルに合う工芸品の提案を募り、コンペを通して広く世に問う場を設けることと、その過程で見出された新しい才能をネットワークで結び、情報の共有や販路の開拓に結び付けていくことを目指しています。

我が国の素晴らしい伝統文化を支える“ものづくり”は、生活様式の変化、担い手の高齢化、道具・原材料の枯渇などの厳しい環境に加え、長く続いたコロナ禍の影響を受けた廃業等の増加などにより、危機的な状況にあるといえます。

しかしながら、危機は転機でもあります。長い歴史の中で、伝統産業の「存亡の秋」は何度も訪れましたが、その都度、伝統の技と精神を受け継ぐ職人・作家たちが、「不易流行」と「温故知新」の言葉どおり、情熱と柔軟な発想、創意工夫をもって時代のニーズに応えた新たな作品を産み出すことで乗り越えて来ました。

京都も、今まさにその局面にあると確信いたします。分野や業種の枠にとらわれない伝統産業の新たな展開が、様々な形で、様々な人々によって既に始められています。そのような伝統産業の明日に繋がる「新しい取組」を掘り上げ、京都から全国に伝播させていく、その拠点になること。それが、私たちの思いです。

全国・全世界の「京都に縁のある」新たな才能のご参加を心より期待しています。

## 【事業の趣旨・目的】

京都伝統産業ミュージアムでは、2024年度より、あらたなクラフトデザインコンペ「TRADITION for TOMORROW」を開催します。

このクラフトデザインコンペは、伝統文化を未来に繋いでいくことを目的としています。

対象は、全国の芸術系大学・専門学校に所属する学生部門と、京都府下の伝統産業従事者を対象とした一般部門（作家部門）を設け実施します。

日本の伝統的な工芸素材・技法を明日へと繋げるような新しい作品・製品制作を顕彰して、さらに販売や異分野とのマッチングに道筋をつけることで、その活動を支援しようとするものです。伝統的な素材・技法は、保存するだけでなく、それを活用してこそ未来へ継承することができます。このクラフトデザインコンペでは、伝統を明日へ繋げる斬新な試みを待っています。

KYOTO CRAFTS and DESIGN  
COMPETITION 2024

TRADITION for TOMORROW

募作品集

2024.9.1-11.30

COMpetition+EXHIBITION

京都伝統産業ミュージアムでは、2024年度より新たなクラフトデザインコンペを開催します。伝統的な素材・技法を、明日へと繋げることで、それを活用してこそ未来へ継承することができます。本コンペでは、伝統を明日へと繋げる斬新な試みを待っています。

Kyoto Museum of Crafts and Design will hold a new craft design competition in 2024. We will use traditional materials and techniques to connect to tomorrow, and only by using them can we inherit the future. This competition is waiting for innovative attempts to connect tradition to tomorrow.

本日の展示はこちら  
https://kmb.jp/t

## 【参加資格】

### 学生部門

- 1 全国の芸術系の大学・専門学校等の学生、大学院生
- 2 ゼミ単位での応募も可能

### 一般部門（作家・事業者）

- 1 京都府にゆかりのある、伝統工芸に従事する個人及び事業者
- 2 (1)の方々と一緒に「ものづくり」に従事している個人及び事業者

※1. 個人、企業、グループは問わない。

※2. 国籍は問わない。

## 【審査員】



## 池坊 専宗 華道家・写真家

京都に生まれ高校まで過ごした後、慶應義塾大学理工学部入学、東京大学法学部入学。東京大学卒業時に成績優秀として「卓越」受賞。華道家元池坊青年部代表を務める。自分の生けた花を撮影し写真としても表現するかたわら、祈りの展示「MOVING」をJR京都伊勢丹で行う。東京国立博物館アンバサダー。講座「いけばなの補助線」や文筆、デモンストレーションなど様々な形で花を生ける意味を伝え続けている。信条は「光を感じ、草木の命をまなざすこと」。



## SHOWKO SIONE

陶芸家/SIONE主宰/スプリングショウ代表取締役。  
株式会社スプリングショウ 代表取締役 (SIONE主宰)  
京都で330年続く茶陶の窯元「真葛焼(まぐずやき)」に生まれ、現在、陶磁器ブランドSIONE主宰。銀閣寺の近くに直営店をオープンし、活躍の幅を世界にも広げている。また、他社の新規事業立ち上げや、ブランディング、工芸の哲学を活かしたコーチングなど人々の人生を心地よく幸せにしていく事業にも注力。著書に累計5万部(2023年6月現在)の『感性のある人が習慣にしていること』(クロスメディア・パブリッシング)他。



## 石井 聖己 SEIKI DESIGN STUDIO代表

京都を拠点に活動しており、国内外の様々なクライアントと協働し、戦略開発からアウトプットまで一貫したデザイン活動を行う。iF DESIGN AWARD, Good Design Award GOOD DESIGN BEST 100, ほぼ日作品大賞 銀賞, James Dyson Award 国内最優秀賞, その他受賞多数



## 鈴木 修司 BEAMS JAPAN

ビームスジャパン クリエイティブディレクター  
1976年生まれ。三重県松阪市出身、鎌倉市在住。1998年にビームス入社。ショップスタッフを経て、“fennica”のMD(マーチャンダイザー)、B:MING by BEAMS”のバイヤーを担当。現在は“BEAMS JAPAN”のクリエイティブディレクターに従事する。「ビームス ジャパン銘品のススメ」著者、「小学生からの都道府県おでかけ図鑑」監修。



## 上田 元治 CCC アートラボ

1997年、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社入社。本、映画、音楽といったコンテンツを、店舗での販売、レンタル、上映やイベントなど様々なかたちで提供する。2011年に代官山 蔦屋書店の立ち上げ、2015年には二子玉川 蔦屋家電の立ち上げを担当。以来、住まいの提案、子ども向け教育事業など、「生活提案」事業の開発に従事。現在はCCCアートラボにて、出版、商品開発などアートを軸としたコンテンツ開発を手掛ける。



## 渡邊 ゆかり 株式会社クオリティファースト

大学卒業後、(株)アミューズ 番組制作部で勤務。その後NHKに移籍し、社会情報番組部においてNHK総合「土曜オアシス」「萬田久子の流行見聞録」「とびっきり京都」など日本の伝統文化・工芸を扱うTV番組のディレクターを経て、2001年化粧品会社ドクタープログラム(株)取締役に就任。2011年から京都府 京都伝統工芸協議会アドバイザー・京ものデザインコンペ審査員に就任。2012年化粧品会社(株)クオリティファーストを設立し代表取締役としてシートマスクカテゴリーで日本一の売上を記録後、オーストラリア移住。帰国後はブランドマネージャーとして復帰。

【テーマ】

「不易流行 & 温故知新」

伝統的な技術・技法を用いた

現代の生活を豊かにする製品（商品）

## 【応募要件】

※下記の要件をすべて満たすもの。

### 学生部門・一般部門 共通

- (1) 過去に他のコンペに応募していないもの
- (2) 「不易流行&温故知新」のテーマに即したもの
- (3) 盗作でないこと
- (4) 作品サイズ：縦・横・高さの合計が200cm以内、かつ重さが30kg以内

### 学生部門

- (1) 伝統的な素材・技法を用いて制作された現代のライフスタイルに沿ったもの
- (2) 試作、3Dデータでの応募も可能とする

### 一般部門

- (1) 伝統的な素材・技法を用いて制作され現代のライフスタイルや流通、マーケットに合わせたもの
- (2) 将来的に販売が可能なもの
- (3) 大量生産ではないが、受注での対応等追加制作可能なもの

## 【出品料】

学生部門

2,750円 (税込)

一般部門

(作家・事業者)

5,500円 (税込)

※出品料のお支払いは右記URLから手続きしてください。  
京都伝統産業ミュージアムのWEBサイト内

<https://kmtc.jp/tft/>



## 【応募期間】

2024年9月1日 (日) ~ 2024年11月30日 (土) 23:59

## 【応募方法】

下記URLの応募フォームから提出ください。

<https://forms.gle/r9NzaPBuPRvdddP46>



応募フォームでの提出ができない方は、応募用紙をダウンロードして、必要事項をすべて記入の上、2024年11月30日（土）【必着】までに下記メールに送信してください。

※郵送での応募は受付けておりません

メール：tft@miyakomesse.jp

なお、応募申込用紙は、以下URLからダウンロードできます。

[https://kmtc.jp/wp-content/uploads/2024/05/R6\\_tft\\_entry.xlsx](https://kmtc.jp/wp-content/uploads/2024/05/R6_tft_entry.xlsx)



ご応募にあたり記入いただきました個人情報は、内容の確認や結果の通知および個人を特定しない統計資料の作成の目的で使用させていただきます。

また、応募者の事前の承諾なく個人情報を業務委託先以外の第三者に開示・漏洩いたしません。

## 【受賞者特典】

### 1. 賞金

一般部門グランプリ1名：100万円 | 学生部門賞1名：30万円 | オーディエンス賞1名：10万円

### 2. 審査員からのアドバイス

売れる商品へのブラッシュアップ、販路開拓につながるネットワークづくり等を支援します

### 3. 首都圏での展示会出展（予定）

### 4. 京都府内イベントでの展示等（予定）

### 5. 京都伝統産業ミュージアムでの展示

## 【審査の重点ポイント】

以下の点を軸に審査を行います。

1. 伝統工芸の技術や感性が活かされているか  
(技術が活用されていれば応募可能)

例：西陣織の技術を用いたテーブルウェア、鍔金具の技術を使った食器等

2. テーマ「不易流行&温故知新」に沿った作品であるか

3. 提出した作品が一点ものでなく、  
追加注文に対して再現（制作）可能であるか

**【スケジュール】**

①	書類選考	2024年12月中旬	選考結果はメールで通知します
②	作品提出	2025年1月27日（月） ～1月31日（金）	提出先：京都伝統産業ミュージアム この日に提出が難しい方は、ご相談ください
③	審査会	2025年2月12日（水）	京都伝統産業ミュージアムにて。国内外で活躍されている審査員による作品審査を行います
④	作品展示	2025年2月13日（木） ～3月23日（日）	会場：京都伝統産業ミュージアム ※来場には観覧料（一般500円）が必要です
⑤	表彰式 交流会	2025年3月20日（木 祝）	京都市内（詳細は後日御案内します） 受賞者の表彰式及び交流会を開催します

## 【注意事項】

### 著作権、工業所有権について

応募作品の著作権や工業所有権等に関する権利は応募者に帰属しますが、必要に応じて意匠登録等の手続きを済ませてください。

※ ただし、入賞作品の展示、作品図録への登載、主催者が行うパブリシティへの掲載の権利は主催者が有するものとします。

### 違反等について

虚偽の申告（例：年齢や受賞歴の詐称等）等があった場合、審査対象から除外し、審査結果発表後であっても入賞を取り消すことがあります。

### 作品の提出・返却について

作品の提出は、宅配便等での発送にてお願いします。止むを得ず、直接ご持参くださる場合には、事前にご相談ください。ただし、発送・搬入にかかる経費は応募者負担となります。

返却については、事務局から発送させていただきます（美術品輸送の対応はいたしかねます）。返却時の送料は事務局が負担いたします。万が一、特別な梱包や取扱いが必要な場合については、事前にご相談ください。

搬入・発送の際に発生した不慮の事故や破損等に関して、事務局は責任を負いかねますのでご了承ください。

### 免責事項

事務局は、提出作品について事務局の故意や過失による損傷及び破損のみ責任を負いますが、天災、その他の不慮の事故や破損等に関しては、一切責任を負いません。

### 個人情報

京都市及び京都伝統産業ミュージアムが実施する他の事業においても、広報戦略の観点から提出作品や応募者についての情報を発信することがありますので、あらかじめご了承ください。

### 審査

表彰式において受賞者の作品等についての講評は行いますが、審査過程、落選理由等の情報については開示しません。

## 【問合せ・申請書提出先】

| 事務局・お問い合わせ：

京都伝統産業ミュージアム（株式会社京都産業振興センター）

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町 9-1

京都市勧業館みやこめっせ地下1階

Mail：tft@miyakomesse.jp TEL：075-762-2670（10:00～17:00）

担当：吉澤、立石、安土、山崎

| URL：https://kmtc.jp/tft

| 主催：京都伝統産業ミュージアム（株式会社京都産業振興センター）

| 共催：公益財団法人京都伝統産業交流センター

| 後援：京都新聞、KBS 京都

| 協力：京都府、京都市、京都・大学ミュージアム連携



## 京都伝統産業ミュージアムについて

千年の歴史のなかで都として栄えた京都では、茶道や華道、能、狂言をはじめとする独自の文化、古くから受け継がれる素材・技術を用いた伝統産業が育まれてきました。

その高い技術・歴史は、京都にとどまらず、広く日本の文化を形づくるうえで重要な役割を担っています。

1977年の開館以来、京都伝統産業ミュージアムでは、京都に息づく産業とその背景の紹介を通して、広く伝統産業の振興に取り組んできました。2020年のリニューアルを経て、現代のつくり手の活動を紹介する事業をさらに充実させ、つくり手と使い手がともに伝統産業のいまを見つめ、これからの思い描く、自由な交流の場を創出しています。



住所：京都市左京区岡崎成勝寺町9-1 みやこめっせ B1F

URL：<https://kmtc.jp/>

Facebook：<https://www.facebook.com/KyotoMOCAD>

Instagram：[@kyotomuseumofcraftsanddesign](https://www.instagram.com/kyotomuseumofcraftsanddesign)